

平成28年度

第2回

学校関係者評価委員会

報告（3月）

- ・第1回学校関係者評価委員会（6月10日実施）
- ・第2回学校関係者評価委員会（8月31日実施）
- ・第3回学校関係者評価委員会（2月24日実施）

輪島市立南志見小学校

学校教育目標及び教育方針

1 教育目標

『自ら考え よく学ぶ 心豊かでたくましい子の育成』

◇進んで学習する子〈知〉 ◇進んで挨拶する子〈徳〉 ◇進んで運動する子〈体〉

2 教育方針

子ども達が生き生きと学び、いろいろな事に「高く！正しく！熱く！挑戦（チャレンジ）」することを大切にする。そして全職員が一つになり、学校運営と教育活動にかかわり合い、温かい学校を目指す。

○児童に学力や体力をしっかりと身につけさせ、中学・高校の学習へと確実につなげていく。

○教師は学び続け、子どもに「学ぶ楽しさ」「分かる喜び」が実感できる授業を実践する。

○ワークライフバランスを推進し、心身ともに健康で充実感・一体感のある学校運営を行う。

3 重点事項

(1) 学力の向上〈進んで学習する子〉

- ① 学習規律の徹底と主体的に学習に取り組む態度を育成する。
- ② 個に徹したきめ細かな指導と家庭学習と授業との関連を図り、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に身に付けさせる。
- ③ 学年の系統性を意識し、学年に応じた思考力・判断力・表現力を育成する。
- ④ 各種学力調査に向けての計画的な指導を実践し、結果の分析と活用を工夫する。

(2) 豊かな心の育成〈進んで挨拶する子〉

- ① 体験活動を重視し、人と地域を生かした道德教育を充実させる。
- ② 児童理解を基盤に、きめ細かな生徒指導を行う。
- ③ 気持ちの良い挨拶ときまりを守ることを徹底し、規範意識の形成を図る。

(3) 体力の向上〈進んで運動する子〉

- ① 「体を動かす楽しさ」「体を動かした後の爽快さ」が実感できる運動を実践する。
- ② 「スポチャレいしかわ」に積極的に参加し、他校と競い合う適度な競争心を育成する。
- ③ 家庭と連携した安全教育・健康教育を推進し、心身ともに健康な児童を育成する。

(4) 組織力の向上

- ① 学校経営参画意識の高揚を図り、各主任を中心とした組織的な校内指導体制を推進する。
- ② ベテランと若手が互いに切磋琢磨し、お互いの良さを認め、学校力を向上させる。

(5) 家庭、地域との連携

- ① 地域の人材・教材を活用し、地域の教育力を積極的に生かす。
- ② 学校公開、授業参観を定期的に行い、積極的に情報を提供する。

学校評価（自己評価に対する学校関係者評価）

1 学力の向上<進んで学習する子>

具体的取り組み	修正・改善策	成果と検証	備考
①学習規律, 主体的な学習 ・自主学習ノートの取組 ・予習復習の推進 ・家庭学習の記録 ・聴く姿勢の徹底	・ノートコンテスト開催 ・ノー画面デー	・4年生以上が5冊目以上 ・家庭学習時間調査 ・一部の子が宿題を忘れる △規律ある学習態度の育成	最高7冊目 学目標(1) 児15,保3 自③
②基礎・基本の定着 ・個に応じたきめ細やかな指導	・TTによる指導	○授業は分かりやすい △市学力調査の目標達成率	児1,保8 学目標(1)
③思考, 判断力, 表現力 ・学力向上プランの実践 ・「結論+理由」で説明 ・短作文づくり	・学期毎の見直し ・相手を意識して ・「地鳴り」投稿	○後期学力向上プランの検証 ○ほとんどの子が表現 ◎市学力調査国語作文問題100% ○地鳴り投稿12人	後期学プ 後期学プ
④学力調査の活用 ・過去問の復習 ・土曜授業で活用力アップ	・チャレンジタイムで復習	△診断テスト通過率33%(4回目)	後期学プ

自己評価	B ○理由を添えて書いたり話したり ◎作文を書くことへの意欲向上 △基礎・基本の定着が低い ▲問題の趣旨, 図や表を読み取る力	【改善策】 ・チャレンジタイムで学年の復習 ・学習規律の見直しと全職員で指導 ・作文の継続と「読解力」への転換
------	--	--

学校関係者評価

総合評価	A B 5人 C D	<意見> ○小学生なのでやっぱり先生方の言葉かけや評価やシールなどでも, 充分やる気につながっているようですので, 是非続けて欲しいです。(自主学習ノートにご褒美があると, うれしさと見てもらえることが伝わるのだと思います) ○表現力は, 是非生活に活かして欲しいです。 △漢字ノート, 自主学習ノートの書き方が丁寧でなくなった。
------	----------------------------	--

2 豊かな心の育成<進んで挨拶する子>

具体的取り組み	修正・改善策	成果と検証	備考
①体験活動と道徳教育の充実 ・いしかわ道徳推進事業 ・千枚田の田植え, 稲刈り ・スイセンの里観察 ・花壇, 畑での栽培 ・ヤマメ放流, アサギマダラ ・スキー合宿, キャンプ ・祭りばやし巡演	☆道徳性の数値化 ☆教師と児童同じ 目線の体験	○いろいろな事に挑戦している ○友だちが困っていたら助ける ○失敗してもやり直す ○難しいことも挑戦する ・自分にはよいところがある ◎地域の行事に参加している ◎人の役に立つ人間になりたい	児3 児4 児5 道5・4 道6・5 児11 道・9
②きめ細やかな生徒指導 ・QUテスト, いじめアンケート ・児童理解研修 ・いじめ対応アドバイザー ・いいところ見つけ	・専門相談員招聘	△困り事を相談する人がいる ○招聘回数2回 ◎いじめ認知件数0件 ・取組回数は多いが成果が?	児5 学目標(2)
③挨拶と規範意識の形成 ・毎日の挨拶		△自分から進んで挨拶	児8

	<ul style="list-style-type: none"> ・グッドマナーキャンペーン ・黙働清掃 	<ul style="list-style-type: none"> ・駐在さんによる規範の指導 	<ul style="list-style-type: none"> ◎子どもはきちんと挨拶 ◎挨拶の指導をした ▲しゃべらずに掃除する ▲子どもは家で手伝いをする ○協力して掃除の指導をした 	保6 自①⑦ 児9 保5 自⑥
	④読書活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・金曜のチャレンジタイム ・読書冊数のグラフ ・読み聞かせ 	☆質の向上	<ul style="list-style-type: none"> △文章の趣旨を捉える力不足 △1ヶ月の読書冊数 ・子ども主体の本の選択 	後期学ブ 学目標(1)
自己評価	C	<ul style="list-style-type: none"> ○道徳教育で自己肯定感が高まる △思いやりあるがトラブルも多い △挨拶はできるが質が問われる ▲掃除の指導と実態が伴わない △読書意欲向上と質向上の両立 	【改善策】 <ul style="list-style-type: none"> ・指導内容の共通理解と指導の徹底 ・「思いやり」を重点にした道徳教育 ・体験活動と学び(道徳)の関連を明確に ・読書で計画的に「分野」指定月間 	
学校関係者評価				
総合評価	A B 4人 C 1人 D	<意見> △基本的なところは児童の人数が少ないので、全員仲間の意識があり、大きいじめはないと思います。ただ、違う意味で良いも悪いも少し上下関係が希薄で、そのため下の子を思いやられない点もあるような気がします。		

3 体力の向上<進んで運動する子>

	具体的取り組み	修正・改善策	成果と検証	備考
	①楽しさを実感 <ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジタイムの取組 ・校内水泳大会 ・校内マラソン大会 ・なわとびカード 	<ul style="list-style-type: none"> ・市水泳記録会 	<ul style="list-style-type: none"> ○自ら進んで運動をする ○進んで運動する指導をした ◎18人中13人200m遠泳 ○18人中17人完走 ・取り組み方の個人差 	児7 自①⑤
	②スポチャレ石川 <ul style="list-style-type: none"> ・8の字跳び ・シャトルボール 		<ul style="list-style-type: none"> △2学期後半から取組開始 ○8の字跳び入賞(県3位) 	自⑤ チャレンジ部門
	③家庭と連携した安全健康 <ul style="list-style-type: none"> ・生活チェック表 		<ul style="list-style-type: none"> ◎朝ご飯食べている △ゲームの時間が長い ○ハンカチ,ティッシュ,身なり ○学校は児童の安全面に配慮 ◎21時以降のSNS機器の管理 	児12,保1 児10 保9 学目標(3)
自己評価	A	<ul style="list-style-type: none"> ◎みんなのできることの意欲づけ ◎達成したときの歓喜を味わう ○家庭との連携と定期的な検証 △年間を見通した計画と実践 	【改善策】 <ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジタイムの有効的な活用 ・対外試合の積極的な参加 ・スポチャレの計画的な取組 	
学校関係者評価				
総合評価	A 5人 B C D	<意見> ◎先生も子どもたちも、楽しんで取り組んでいることがよく分かりました。		

4 組織の向上

	具体的取り組み	修正・改善策	成果と検証	備考
	①組織的な校内体制 ・学力向上ロードマップ ・研究, 道徳, 生徒指導体制 ・危機管理体制		・学期ごとの見直しが必要 ○主任を中心とした研修21回 ○管理体制の見直しと避難訓練の実施(3回) ○学校は児童の安全面に配慮	保9
	②学校力の向上 ・計画的な校内研修 ・アシスト訪問の要請 ・模擬授業の実践		△定例的な計画 △3回計画, 2回実施 ○道徳を中心とした実践4回	
自己評価	B	○主任を中心とした研修体制 ○校内授業研究の充実 △不定期的な研修時間 △外部講師を招いた校内研修	【改善策】 ・月2回の校内研修実施 ・積極的な外部講師の活用(5回) ・出張研修内容の還元	
学校関係者評価				
総合評価	A 1人 B 4人 C D	<意見> △少ない体制でよく頑張っていると思います。しかし、外部からはよく分かりません。		

5 家庭、地域との連携

	具体的取り組み	修正・改善策	成果と検証	備考
	①地域の人材・教材, 教育力 ・祭りばやし講師 ・道徳の授業の出演 ・米作り, 野菜作り指導 ・公民館行事の参加	・運動会共催	○年間7回の練習実施 ○ビデオ出演3回実施 △授業でのゲストティチャー ○公民館合宿, 火災避難訓練	
	②積極的な情報提供 ・授業参観, 学校公開 ・学校だより, 学級通信 ・ホームページ ・連絡帳, 電話, 家庭訪問	・道徳公開授業	○授業参観5回, 学校公開3回 ◎授業や行事等参加しやすい ○学校・学級通信月1回の発行 △11月からの更新再開 △連絡帳の記述内容の統一性 ◎学校は教育活動を伝えている	保13 保11
自己評価	B	○地域人材の活用と協力 △新たな人材等の発掘と積極性 ○いつでも学校公開できる姿勢 △HP更新と積極的に保護者へ連絡	【改善策】 ・地域の教育力を高めるための教材開発 ・連絡帳の見直しと積極的な話題提供 ・最低週1回のホームページ更新	
学校関係者評価				
総合評価	A 1人 B 4人 C D	<意見> ○少ない人数(先生も子どもも)でよく頑張っています。これからもよろしくお願いします。		

※備考欄

学目標→「平成28年度 学校力向上のための数値目標」

児→「児童アンケート 第2回結果」 保→「保護者アンケート 第2回結果」

自→「職員用 第2回学校評価(自己評価)集計」

道→「道徳教育 児童生徒質問調査(第3・4学年)・(第5・6学年)」

後期学プ→「平成28年度 輪島市立南志見小学校 後期 学力向上プラン」

資料

- ・「平成28年度 学校力向上のための数値目標」
- ・「平成28年度 児童用アンケート 第2回結果・取組評価」
- ・「平成28年度 保護者アンケート 第2回結果・取組評価」
- ・「職員用 第2回 学校評価(自己評価)集計」
- ・「道徳教育 児童生徒質問調査 (小学校第3・4学年)」(県教委提出資料)
- ・「道徳教育 児童生徒質問調査 (小学校第5・6学年)」(県教委提出資料)
- ・「平成28年度 輪島市立南志見小学校 後期 学力向上プラン」

平成28年度 学校力向上のための数値目標

輪島市立南志見小学校

目標	取組内容	年度当初の状況(A)	今年度目標(B)	取組結果(C)	検証		
学力	輪島市学力調査数値目標	1年	国語 % 算数 %	国語 % 算数 %			
		2年	国語 % 算数 %	国語 % 算数 %			
		3年	国語 82.6 % 算数 72.4 %	国語 85 % 算数 75 %	国語 64.8 % 算数 78.6 %	△	
		4年	国語 70.8 % 算数 78.9 %	国語 73 % 算数 80 %	国語 69.9 % 算数 76.1 %	△	
		5年	国語 71.4 % 算数 71.4 %	国語 73 % 算数 73 %	国語 50.0 % 算数 61.8 %	△	
		6年	国語 68.7 % 算数 65.2 %	国語 70 % 算数 70 %	国語 75.6 % 算数 70.7 %	○	
	(1)	家庭での学習時間 ・宿題, 自学, 読書など	低	分(月集計)	30分	30分	○ ○
中			79分(4月集計)	70分	74分	○ ○	
高			58分(4月集計)	80分	71分	△ △	
1ヶ月の読書冊数(低・高)		(低) 8冊 (高) 822頁	(低) 10冊(高) 1000頁	(低) 8冊 (高) 1078頁	○ △		
授業は分かりやすい		100%	100%	100%	○ ○		
※たしかめテスト合格者の割合		漢字 91% 算数 86%	漢字 95% 算数 90%	漢字 70% 算数 81%	△ △		
心力	※(掃除の取組)しゃべらずに取り組む	100%	100%	82%	△ △		
(2)	いじめ認知件数(保護者アンケート)	1学期(4月) 0件	0件	0件	○ ○		
	自分から挨拶ができる児童の割合	約95%	100%	84%	△ △		
体力	新体力テスト ・持久走(シャトルラン)	4年	45回	55回	59回	○	
		5年	55回	60回	53回	△	
		6年	55回	65回	51回	△	
	(3)	新体力テスト 生活調査 ・一日の睡眠時間	4年	8時間00分	8時間00分	8時間10分	○
			5年	7時間30分	8時間00分	7時間10分	△
			6年	8時間 5分	8時間00分	8時間 5分	○
		新体力テスト 生活調査 ・一日のテレビの視聴時間 (インターネット, DVD等含む)	4年	約2時間30分	2時間00分	1時間50分	○
5年			約2時間10分	2時間00分	1時間30分	○	
		6年	約2時間30分	2時間00分	2時間40分	△	
	21時以降の携帯電話等の預け	高学年 100%	高学年 100%	高学年 100%	○ ○		
安全	ヘルメットの着用	全学年 86.6%	全学年 100%	全学年 100%	○ ○		
(4)	※健康センターにかかった回数	27年度 2件	0件	2件	○ △		
公開	※授業参観保護者出席の割合	27年度 91%	95%	92%	○ ○		
(5)	※学校公開時来校者数	27年度 22人/1回	25人/1回	19人/1回	△ △		
	HPの更新回数	27年度 10回/年	15回/年	60回/年	△ ○		
研修	※サポート研修	27年度 2回	3回	2回	△		
(6)	※校内授業研究	27年度 9回	10回	10回	○		
学校 独自 (7)	※消費電気の減量	27年度 34567kw	34000kw	31189kw(1月末現在)	○		
	※チャレンジタイムの目標達成率	新規	80%	80%	○		

※印については、学校独自の取組を記入して下さい。

検証→目標達成(○) 未達成(△)

平成28年度 児童用アンケート 第2回結果・取組評価

番号	項目 A：あてはまる B：どちらかといえば、あてはまる C：どちらかといえば、あてはまらない D：あてはまらない	評価				2月期 A, Bの 割合	7月期 割合	前回 比
		A	B	C	D			
1	授業は、よくわかりますか。	12	6			100.0	100	
2	朝読書・金曜日読書・家庭読書がしっかりできていますか。	14	3	1		94.4	100	
3	いろんな事に挑戦していますか。	11	6	1		94.4	89	
4	友達が困っていたら進んで助けていますか。	8	8	2		88.9	89	
5	困ったことがあったとき、相談する人がいますか。	9	4	1	4	72.2	94	▼
6	失敗してもくじけず、やり直したり、考え直したりしていますか。	8	8	1	1	88.9	83	
7	自分からすすんで運動をしていますか。	11	5	2		88.9	94	
8	自分からすすんで気持ちのよいあいさつをしていますか。	11	4	3		83.3	94	▽
9	時間いっぱい、しゃべらずに掃除をしていますか。	4	7	6	1	61.1	78	▼
10	ハンカチやティッシュを持ち、制服も正しく着ていますか。	11	5	2		88.9	89	
11	お祭りなど地域の行事に参加していますか。	12	5	1		94.4	100	
12	朝ご飯をしっかり食べていますか。	16	1	1		94.4	100	
13	家で、手伝いをしていますか。	9	1		3	76.9	72	
14	学校での出来事について家族と話をしていますか。	9	1		3	76.9	72	
15	宿題を忘れずにして、目標時間を超えるようがんばっていますか。	9	6	3		83.3	83	

改善に向けた取組

	課題	具体的取組
6	自己肯定感、向上心の低い子が3人いる	些細なことでもできたことはほめる 全員に自己存在感を感じられる指導の推進
9	黙働清掃ができない子が増えた	できている子に対して賞賛し、紹介をする 児童・職員全員での掃除を続ける
15	家庭学習の習慣が身につけていない子がいる	批判指導より支援指導を行い、できたことをほめる 保護者に対し、学習できる環境づくりの協力を要請する
13	家での手伝いをしない子がいる	家族のはたらきやその一員としての自覚を図るため、教科や特別活動で指導する
14	学校での出来事を家で話さない子がいる	連絡帳や電話等で保護者への連絡を密にする。その内容もほめることを多くする。
子どもたちをほめる意識を高め、その検証を行う →ほめる行為は個々任せ、検証方法を考えていない		

平成28年度 保護者用アンケート 第2回結果・取組評価

番号	項目	評価				2月期 A, Bの割合	7月期 割合	前回 比
		A	B	C	D			
	A : あてはまる B : どちらかといえば, あてはまる C : どちらかといえば, あてはまらない D : あてはまらない							
1	子どもは, 朝食を毎日食べている。	13	1	0	0	100.0	100	
2	子どもは, 学校での出来事について話をしている。	6	5	3	0	78.6	80	
3	子どもは, 宿題を言われなくてもきちんとしている。	5	7	1	1	85.7	87	
4	子どもは, 学習用具などの忘れ物をしていない。	5	5	3	1	71.4	73	
5	子どもは, 家で手伝いをしている。	1	7	4	2	57.1	67	▽
6	子どもは, きちんと挨拶をしている。	4	9	1	0	92.9	93	
7	子どもは, 途中で投げ出さず最後までやろうとしている。	3	7	2	2	71.4	80	▽
8	学校は, 「よくわかる授業」の実践に努めている。	7	6	1	0	92.9	100	▽
9	学校は, 児童の安全面によく配慮し, 事故防止に努めている。	7	7	0	0	100.0	100	
10	学校は, 校舎内外の環境整備に努めている。	6	8	0	0	100.0	100	
11	学校は, お便り等で日々の教育活動をわかりやすく伝えている。	9	5	0	0	100.0	100	
12	学校は, 保護者からの連絡に誠意を持って対応している。	9	5	0	0	100.0	100	
13	学校は, 授業や行事などいつでも参観しやすい環境にしている。	10	4	0	0	100.0	100	
14	P T A活動は, 子どもたちのために積極的な活動を行っている。	8	5	0	1	92.9	93	
15	P T A活動は, 参加しやすい雰囲気や態勢を整えている。	8	5	0	1	92.9	93	

	課題	具体的取組
7	途中であきらめてしまう子が保護者からもわかる	できたところまでほめ, 意欲向上につながる声かけをする 家庭学習での声かけも保護者に協力を要請する
4	忘れ物をする子がいる	連絡帳を書くことと家庭で連絡帳を開く習慣化を図る (5・6年)
5	家での手伝いをしない子がいる	家族の一員としての自覚化を図る指導を行う 手伝いの習慣が身につくよう家庭の協力を得る
2	学校での出来事を家で話さない子がいる	連絡帳や電話等で保護者への連絡を密にする。その内容にほめることを多くする
	連絡帳等を活用して, 保護者との連携を密にする →連絡帳の記述内容が不統一。連絡も担任任せ。	

職員用 第2回

2月

学校評価（自己評価）集計

評価（A：十分できた B：概ねできた C：あまりできていない D：全くできていない）

※色つきセルは、改善策にかかわる項目

① 教育目標

評価の観点	自己評価				2月期 A・Bの割合%	7月期 A・Bの割合%	
	A	B	C	D			
進んで学習する子の育成に努めた。(全員)	3	2			100	100	
進んで挨拶する子の育成に努めた。(全員)	4	1			100	100	
進んで運動する子の育成に努めた。(全員)	3	2			100	100	
教育目標を学級経営方針に生かした。(学担のみ)	1	1			100	100	
7月以降の改善策への評価	高い意識をもって取組を継続する						
改善策の取組具合	<ul style="list-style-type: none"> 概ねできているが、自主性にとぼしい。 45分の授業時間に臨む態度を教えてきた。 						

② 教育課程

評価の観点	自己評価				2月期 A・Bの割合%	7月期 A・Bの割合%	
	A	B	C	D			
カリキュラムの編成は、適切に行われた。(学担+教頭)	2	1			100	100	
各教科の標準時数は、確保することができた。(学担+教頭)	2	1			100	100	
週案を活用し、計画的に進めることができた。(学担+教頭)	2	1			100	100	
地域の特性を生かした教育課程の編成に取り組んだ。(学担+教頭)	2	1			100	100	
奥能登スタンダードを活用した。(学担+教頭)	2	1			100	100	
7月以降の改善策への評価	高い意識をもって取組を継続する						
改善策の取組具合	<ul style="list-style-type: none"> 計画性の意識はまだ低い。 週案を活用し、計画的に進めることができた。 						

③ 学級経営・学習指導

評価の観点	自己評価				2月期 A・Bの割合%	7月期 A・Bの割合%	
	A	B	C	D			
規律ある学習態度を育てた。(学担+教頭)	2		1		67	▽ 75	
基礎・基本の定着を図れるように指導の工夫に取り組んだ。(学担+教頭)	3				100	100	
分かりやすい授業に取り込むことができた。(学担+教頭)	2	1			100	◎ 75	
個に応じた指導ができた。(学担+教頭)	3				100	100	
家庭学習の定着を図るために課題や内容の工夫ができた。(学担+教頭)	3				100	◎ 75	
掲示など、学習しやすい環境の工夫を行った。(学担+教頭)	1	2			100	100	
チャレンジタイムの効果的な活用で成果を上げることができた。(学担のみ)	1	1			100	100	
学級経営方針が保護者に伝わっていた。(学担のみ)	1	1			100	100	
学ぶ意欲を持った学級作りができた。(学担のみ)		2			100	◎ 67	
朝読書などを通して、意欲的に読書を取組ませることができた。(学担のみ)	1	1			100	100	
基礎学力調査等の結果を活用し、授業改善を行った。(学担+教頭)	2	1			100	100	
7月以降の改善策への評価	それぞれの取組に対して高い意識をもつ個に応じた指導、複数人での指導を心がけ、子どもたちの意識を高める情報交換を密にして、職員一丸となり同じ目線の取組を行う						
改善策の取組具合	<ul style="list-style-type: none"> 何が分からないのかをはっきりさせ、進むよう指導した。 個に応じた指導に取り組み、学習意欲を高めることができた。 						

④ 研究

評価の観点	自己評価				2月期 A・Bの割合%	7月期 A・Bの割合%	
	A	B	C	D			
校内研究を計画的・意欲的に取り組んだ。(全員)	3	1			100	100	
校内研究が組織的に機能した。(全員)	2	2			100	100	
研究テーマを意識して授業作りを行った。(全員)	3	1	1		80	83	
7月以降の改善策への評価	授業受け持ちの有無にかかわらず、南志見小学校職員一丸となって校内研究に取り組む						
改善策の取組具合	<ul style="list-style-type: none"> 検証についての共通理解と具体的な検証方法について改善が必要（特にノート検証） 具体的取組が分かりやすく、実践しやすかった。 研究テーマを意識して授業を行うことができた。 						

⑤ 体力

評価の観点	自己評価				2月期 A・Bの割合%	7月期 A・Bの割合%
	A	B	C	D		
「スポチャレいしかわ」に参加し記録の向上をめざして取り組んだ。(学担+養教)	1	1			100	◎ 0
児童のがんばりを認め、個に応じて適切に指導した。(学担+養教)	2	1			100	100
進んで運動しようと意欲を喚起するように工夫した。(学担+養教)	1	2			100	100
児童が運動しやすいように環境を整えた。(学担+養教)	1	1	1		67	▽ 100
7月以降の改善策への評価	2学期以降は、体力向上のために「スポチャレいしかわ」の種目を活用する					
改善策の取組具合	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期からの計画的な取組（準備運動） ・運動しやすい環境づくりを心がけたことで、意欲的に取り組むようになった。 					

⑥ 保健・健康

評価の観点	自己評価				2月期 A・Bの割合%	7月期 A・Bの割合%
	A	B	C	D		
不審者対応や交通安全指導など安全管理への対応を行なった。(学担+養護+教頭)	3	1			100	100
食育や健康について具体的な指導を行った。(学担+養護+教頭)	3	1			100	100
手洗いや歯磨きなど、適切に指導した。(学担+養護+教頭)	3	1			100	100
縦割り班で協力して清掃できるように指導した。(学担+養護+教頭)	2	2			100	100
7月以降の改善策への評価	高い意識をもって取組を継続する					
改善策の取組具合	<ul style="list-style-type: none"> ・今一度、黙働清掃を徹底する必要がある。 ・取組を継続することが大事なので、教師の意識が薄れることのないよう努力が必要。 ・掃除に対しては定期的なチェック、改善策を講じなかった。 					

⑦ 生徒指導

評価の観点	自己評価				2月期 A・Bの割合%	7月期 A・Bの割合%
	A	B	C	D		
いじめや不登校などの問題に適切に指導、対応した。(全員)	3	2			100	100
児童の問題行動にすばやく対応した。(全員)	3	2			100	100
職員間で児童について共通理解した。(全員)	4	1			100	100
保護者からの相談や要望に適切に対応した。(全員)	4	1			100	100
場に応じたあいさつをするように指導した。(全員)	5				100	100
7月以降の改善策への評価	高い意識をもって取組を継続する					
改善策の取組具合	<ul style="list-style-type: none"> ・支援を要する児童の割合が高いので、もっと深い児童理解が必要（家庭への情報発信） ・職員間の共通理解、事あることの報連相が大切です。 ・学習規律での共通理解と指導の徹底が弱かった。 ・職員間で児童についての話題を出し合い、問題を共有することができた。 					

⑧ 校務分掌

評価の観点	自己評価				2月期 A・Bの割合%	7月期 A・Bの割合%
	A	B	C	D		
自分の校務（仕事）を適切に処理した。(全員)	3	2			100	100
組織として校務（仕事）を適切に処理した。(全員)	2	2			100	100
本校の校務分掌について、改善すべき点を下記の欄に記入して下さい。↓						
7月以降の改善策への評価	意識を高めて、取組を行う					
改善策の取組具合	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一役以上の業務があり、小規模の学校は大変です。 ・少人数が故に、組織としての意識を高めにくい。 					

道徳教育 児童生徒質問調査 (小学校第3・4学年)

学校名

輪島市立南志見小学校

No.	質問項目	調査時期	回答別の児童の人数(人)と割合(%)				回答総数	
			当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない		
1	道徳の時間は好きだ	事業開始時	(人)	7	3	0	0	10
			(%)	70.0%	30.0%	0.0%	0.0%	
		事業終了時	(人)	5	4	1	0	10
			(%)	50.0%	40.0%	10.0%	0.0%	
2	学校のきまりを守っている ▽	事業開始時	(人)	6	4	0	0	10
			(%)	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	
		事業終了時	(人)	1	7	1	1	10
			(%)	10.0%	70.0%	10.0%	10.0%	
3	人が困っているときは、進んで助けている	事業開始時	(人)	3	7	0	0	10
			(%)	30.0%	70.0%	0.0%	0.0%	
		事業終了時	(人)	4	5	1	0	10
			(%)	40.0%	50.0%	10.0%	0.0%	
4	将来の夢や目標を持っている	事業開始時	(人)	8	2	0	0	10
			(%)	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	
		事業終了時	(人)	9	1	0	0	10
			(%)	90.0%	10.0%	0.0%	0.0%	
5	難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦している ○	事業開始時	(人)	3	6	1	0	10
			(%)	30.0%	60.0%	10.0%	0.0%	
		事業終了時	(人)	6	2	1	1	10
			(%)	60.0%	20.0%	10.0%	10.0%	
6	自分には、よいところがある ○	事業開始時	(人)	5	5	0	0	10
			(%)	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	
		事業終了時	(人)	8	2	0	0	10
			(%)	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	
7	ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある	事業開始時	(人)	8	2	0	0	10
			(%)	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	
		事業終了時	(人)	8	1	0	1	10
			(%)	80.0%	10.0%	0.0%	10.0%	
8	近所の人に会ったときは、あいさつをしている	事業開始時	(人)	8	2	0	0	10
			(%)	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	
		事業終了時	(人)	8	1	0	1	10
			(%)	80.0%	10.0%	0.0%	10.0%	
9	今住んでいる地域の行事に参加している	事業開始時	(人)	9	1	0	0	10
			(%)	90.0%	10.0%	0.0%	0.0%	
		事業終了時	(人)	8	2	0	0	10
			(%)	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	

道徳教育 児童生徒質問調査 (小学校第5・6学年)

学校名

輪島市立南志見小学校

No.	質問項目	調査時期	回答別の児童の人数(人)と割合(%)				回答総数	
			当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない		
1	道徳の時間は好きだ	事業開始時	(人)	3	2	0	2	7
			(%)	42.9%	28.6%	0.0%	28.6%	
		事業終了時	(人)	3	1	2	1	7
			(%)	42.9%	14.3%	28.6%	14.3%	
2	道徳の授業で学習したことが、将来の生活を豊かにしたり、社会に出たときに役立ったりすると思う ○	事業開始時	(人)	3	3	0	1	7
			(%)	42.9%	42.9%	0.0%	14.3%	
		事業終了時	(人)	4	2	1	0	7
			(%)	57.1%	28.6%	14.3%	0.0%	
3	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある	事業開始時	(人)	4	2	1	0	7
			(%)	57.1%	28.6%	14.3%	0.0%	
		事業終了時	(人)	5	1	1	0	7
			(%)	71.4%	14.3%	14.3%	0.0%	
4	難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している	事業開始時	(人)	2	4	1	0	7
			(%)	28.6%	57.1%	14.3%	0.0%	
		事業終了時	(人)	2	4	1	0	7
			(%)	28.6%	57.1%	14.3%	0.0%	
5	自分には、よいところがあると思う ▽	事業開始時	(人)	3	2	2	0	7
			(%)	42.9%	28.6%	28.6%	0.0%	
		事業終了時	(人)	4	1	0	2	7
			(%)	57.1%	14.3%	0.0%	28.6%	
6	将来の夢や目標を持っている	事業開始時	(人)	5	0	0	2	7
			(%)	71.4%	0.0%	0.0%	28.6%	
		事業終了時	(人)	4	2	0	1	7
			(%)	57.1%	28.6%	0.0%	14.3%	
7	今住んでいる地域の行事に参加している	事業開始時	(人)	6	0	0	1	7
			(%)	85.7%	0.0%	0.0%	14.3%	
		事業終了時	(人)	6	1	0	0	7
			(%)	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	
8	地域や社会で起きている問題や出来事に関心がある ▽	事業開始時	(人)	4	1	0	2	7
			(%)	57.1%	14.3%	0.0%	28.6%	
		事業終了時	(人)	2	2	3	0	7
			(%)	28.6%	28.6%	42.9%	0.0%	
9	地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか ○	事業開始時	(人)	3	1	3		7
			(%)	42.9%	14.3%	42.9%		
		事業終了時	(人)	6	1	0		7
			(%)	85.7%	14.3%	0.0%		

No.	質問項目	調査時期	回答別の児童の人数(人)と割合(%)				回答総数	
			当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない		
10	学校のきまりを守っている	事業開始時	(人)	5	2	0	0	7
			(%)	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%	
		事業終了時	(人)	4	3	0	0	7
			(%)	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%	
11	友達との約束を守っている	事業開始時	(人)	5	1	1	0	7
			(%)	71.4%	14.3%	14.3%	0.0%	
		事業終了時	(人)	5	2	0	0	7
			(%)	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%	
12	人が困っているときは、進んで助けている	事業開始時	(人)	4	1	1	1	7
			(%)	57.1%	14.3%	14.3%	14.3%	
		事業終了時	(人)	5	1	1	0	7
			(%)	71.4%	14.3%	14.3%	0.0%	
13	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	事業開始時	(人)	6	0	0	1	7
			(%)	85.7%	0.0%	0.0%	14.3%	
		事業終了時	(人)	5	2	0	0	7
			(%)	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%	
14	人の役に立つ人間になりたいと思う ○	事業開始時	(人)	5	0	1	1	7
			(%)	71.4%	0.0%	14.3%	14.3%	
		事業終了時	(人)	5	2	0	0	7
			(%)	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%	
15	道徳の時間では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思う ○	事業開始時	(人)	2	2	1	2	7
			(%)	28.6%	28.6%	14.3%	28.6%	
		事業終了時	(人)	2	4	1	0	7
			(%)	28.6%	57.1%	14.3%	0.0%	

平成28年度 輪島市立 南志見小学校 後期 学力向上プラン

プラン名 自分の考えを伝えるときは、結論+理由ですっきり説明！

～キーワード（学習用語）を使って、相手にわかりやすく～

1 評価問題・市学力テストを終えての現状・課題（Rリサーチ）

	現在の姿	科学的なデータ（分析・原因）
授業	授業では考えを書くときに、キーワードを使って結論+理由で書けるようになってきた。しかし、資料等から問題の趣旨にそった読み取りができていない児童が、約60%いる。	評価問題 国語 3 二条件に合わせて、キーワードを用いて文章を書く。(3/7) 算数 7 (2) グラフを正確に読み取り、言葉と数を使って書く。(2/7) 診断テスト 国語B二 (1) グラフや表をもとに自分の考えを書く。17% 算数B2 (3) キーワードを使って説明する。67% ノート・児童の姿 結論+理由での記述・説明 76% 教師アンケート キーワードの提示 50% 原因…問題の趣旨をとらえておらず、叙述にそった読み取りができていない。 グラフの一目盛りの読み取りが正確にできていない。
基盤	短作文の問題において、条件に合った段落や文字数で書くことができるようになった児童が増えてきた。しかし、児童アンケートから、自信を持って自分の考えを表現することができていない児童が35%いる。	市学力調査（12月）国語 自校採点 短作文の問題（3～6年生） 結論+理由 65% (11/17) 児童アンケート（あてはまる・ややあてはまるの割合） 1. 授業で自分の考えを発表したり、説明したりすることが得意である。 7月 76% → 12月 76% 2. 国語の授業で進んで自分の考えを発表したり、書いたりしている。 7月 76% → 12月 65% 3. 算数の授業で進んで自分の考えを発表したり、書いたりしている。 7月 76% → 12月 76% 原因…条件に合った書き方ができていない。 個別の指導や支援が足りない。友達の間違いを指摘する場面が多い。

2 目標（Gゴール）

	目指す姿	科学的なデータ（目標）
授業	資料等から問題の趣旨にそった読み取りができる児童を80%にする。	評価問題 国語 3 二条件に合わせて、キーワードを用いて文章を書く。(7/8) 算数 7 (2) グラフを正確に読み取り、言葉と数を使って書く。(7/8) 診断テスト 国語B二 (1) グラフや表をもとに自分の考えを書く。80% (5/6) 算数B2 (3) キーワードを使って説明する。80% (5/6) ノート・児童の姿 結論+理由での記述・説明 80% (15/18) 教師アンケート キーワードの提示 100%
基盤	短作文の問題において、条件に合った段落や文字数で書くことができるようになった児童を80% (15/18) にする。 児童アンケートから、自信を持って自分の考えを表現することができていない児童を80%にする。	市学力調査（3月）国語 短作文の問題（3～6年生） 結論+理由 80% (15/18) 児童アンケート（あてはまる・ややあてはまるの割合） 1. 授業で自分の考えを発表したり、説明したりすることが得意である。 7月 76% → 12月 76% → 3月 80% 2. 国語の授業で進んで自分の考えを発表したり、書いたりしている。 7月 76% → 12月 65% → 3月 80% 3. 算数の授業で進んで自分の考えを発表したり、書いたりしている。 7月 76% → 12月 76% → 3月 80%

3 仮説・具体的取組（Pプラン・Aアクション）

	取組	ポイント	指標
授業	学習用語やキーワードを提示し、それを使って結論+理由で書かせる。	<p><国語> 選んだ図表やグラフ、絵、写真などの資料を用いて文章書く。 3年「資料から分かる、小学生のこと」 5年「1まいの写真から」</p> <p><算数> 3年 H26全国B②（2） 水の使用量を表す問題で、棒がわくに入らない月を考え、その理由を言葉と数で書く。 5年 H25全国B⑤（2） 貸し出し冊数が増えているものを選んで、その理由を言葉と数や式を使って書く。</p>	100%
基盤	週1回、結論+理由で書く短文作文に取り組みさせる。 （100～150字程度の短文作文）	<ul style="list-style-type: none"> ・3～6年生まで同じ課題で同じ時間に取り組む。 ・3～6年生が同じ教室で行い、書いた作文を交流する。 ・課題例 「あなたが言われてうれしかった言葉は何ですか？」 「あなたが一番楽しかったことは何ですか？」 「自分のいいところはどんなところですか？」 等 	100%（10回）

4 実行・検証と評価（Dドゥ・Cチェック）

月	週	取組（何を、どのように）	検証（何で、いつ、誰が）	評価（◎○△）
1	1	□補充学習の指導で類問ができています。	・学校での類問チェック（12日、担任）	△ 66%
	2	□授業においてキーワードを用いて結論+理由で自分の考えを書いている。 □補充学習の指導で類問ができています。	・ノートで検証部会がチェック（18日） ・学校での類問チェック（19日、担任）	○ 78%
	3	□短文作文の理由を明確に書いている。 □補充学習の指導で類問ができています。	・学校で検証部会がチェック（31日） ・学校での類問チェック（26日、担任）	△ 66% ◎ 83%
2	4	□授業においてキーワードを用いて結論+理由で自分の考えを書いている。 □補充学習の指導で類問ができています。	・ノートで検証部会がチェック（1日） ・学校での類問チェック（2日、担任）	◎ 94%
	5	□授業においてキーワードを用いて結論+理由で自分の考えを書いたり、発表したりできている。 □補充学習の指導で類問ができています。	・全員で授業観察（8日） ・学校での類問チェック（9日、担任）	△ 61%
	6	□授業においてキーワードを用いて結論+理由で自分の考えを書いている。 □補充学習の指導で類問ができています。	・ノートで検証部会がチェック（15日） ・学校での類問チェック（16日、担任）	△ 39%
	7	□短文作文の理由を明確に書いている。 □補充学習の指導で類問ができています。	・学校で検証部会がチェック（21日） ・学校での類問チェック（23日、担任）	△ 61%
3	8	□授業においてキーワードを用いて結論+理由で自分の考えを書いている。 □補充学習の指導で類問ができています。	・ノートで検証部会がチェック（1日） ・学校での類問チェック（2日、担任）	◎ 94%
	9	□授業においてキーワードを用いて結論+理由で自分の考えを書いたり、発表したりできている。 □補充学習の指導で類問ができています。	・全員で授業観察（8日） ・学校での類問チェック（9日、担任）	
	10	□短文作文の理由を明確に書いている。 □補充学習の指導で類問ができています。	・学校で検証部会がチェック（14日） ・学校での類問チェック（16日、担任）	

